

各課照会結果

【資料2】

令和6年1月12日（金）
第4回佐倉市子育て支援推進委員会

企画政策課	アンケート項目に意見等はありません。 こども基本法が規定する「『こども』や『こども施策』（第2条関係）」、「6つの基本理念（第3条関係）」を踏まえたアンケートを実施し、「佐倉市こども計画」（≠第3期佐倉市子ども・子育て支援事業計画）を策定していただきますようお願いします。
社会福祉課	DVや虐待についての項目はあってもいいのではないか。
障害福祉課	その他の調査項目として「発育・発達等に関する支援」があるが、具体的な調査項目案ができたらご教示ください。障害者手帳を所持していない方のうち、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用希望等を調査すると、療育に関する支援ニーズが把握できるのではないかと思います。 （参考）令和5年2月に障害者手帳（主に身体障害者手帳、療育手帳）を所持している18歳未満を無作為抽出（300人）し、「障害福祉アンケート」を実施しています。
こども家庭課	保護者に対し、「家庭のことやこどものことに関する相談窓口の認知状況」を調査していただきたい。
母子保健課	① 母子保健課では、国の健やか親子21により設定された指標を用いて、以下のデータを把握しているので、同じ設問項目でアンケート調査ができると良い。 ・就労状況（年収）→現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じますか。大変ゆとりがある、ややゆとりがある、普通、やや苦しい、大変苦しい ・男性も育児に主体的に参加するようになったと思うか→お子さんのお父さんは、育児をしていますか。よくやっている、時々やっている、ほとんどしない、何ともいえない ② ソーシャルキャピタルの設問を加えてはどうか→この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。そう思う、どちらかといえばそう思う、どちらかといえばそう思わない、そう思わない ③ こどもの権利の認知状況について、当事者である子どもにも聞く必要があると思う。権利条約の4項目を示し、「知っているか」「保障されていると思うか」聞く。

	<p>④以下の項目をどのような政策に活かすのか。漠然と実態を知りたいから聞くのではなく、仮説をたて、どのように政策に活かせるか明確にしてから聞く必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急の満足度→小児初期急病診療所の評価か。小児救急は、#8000の活用も推進している。小児初期急病診療所だけでなく、二次、三次も含めて小児救急全体の満足度を調べるという意味か？ ・学童保育所の利用状況→利用しているかであれば、自所属で利用率等わかるはず。満足度ご意見であれば事業者が聞いているのでは。 ・長期休暇中の保育→学童のニーズ調査か？ ・将来の夢…有無を聞くのか。内容を聞くのか。「ある」と答える子を増やすのか。そのための政策は何か。 ・男性も育児を主体的に参加するようになったと思うか？→誰に聞くのか。母？父？増加を目指すのか。参加できない要因を聞いて、政策を考えるのか。 <p>⑤子どもの声を聞いたら、親や学校の先生、周りの大人に望むことを聞く。</p> <p>⑥発達支援のニーズはぜひ聞いていただきたい。早期発見や相談体制、児童発達支援、特別支援教育へのご意見等。今後の発達に支援が必要な方の数や支援ニーズに活かせると思う。</p> <p>⑦全体的に ・健康さくら21の市民健康意識調査や学校での調査等、既存のデータを活用できればしたほうがよい。ただし、同じ項目を定期的いきいてもらえないおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政策方針や目標がわからないと、どの質問が本当に必要かわからない。
指導課	<p>○次の項目について小中学生に質問をする際は、配慮した表現で質問を作成してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー ・ひきこもり ・不登校 <p>○部活動は現在、社会的に部活動の地域移行を推進しているところです。部活動地域移行について配慮した内容であるとありがたいです。</p> <p>○公立のフリースクールのニーズについて</p>